

付属部品変更のお知らせ

※付属のコーチネジが変更になっております。
工事をされる前に確認して下さい。



警告

- ・正しく安全にご使用いただくため、このチラシをよくお読みになってから指定された工事を行って下さい。
- ・2m以上の高いところで作業をする場合、危険防止のため、「労働安全衛生規則」に従って下さい。

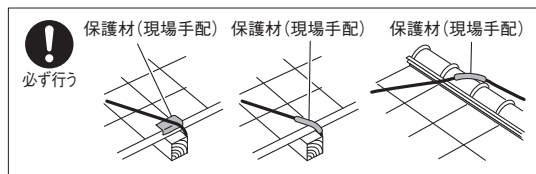
■工事される方へのお願い

※下記の内容に注意し、工事を行って下さい。

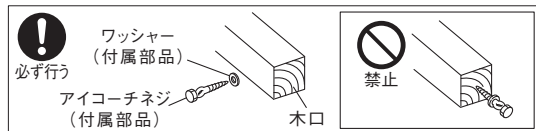
- ・ステンレス線の巻きものをほどくときは、キンク、小曲がりが生じないようにする。また、ステンレス線の途中をねじらない。



- ・ステンレス線に傷がないことを確認し、たるみがないように張る。
- ・ステンレス線が瓦や軒先の角に当たる部分には、保護材(ポリエチレン管など)を当てる。



- ・保護材はステンレス線から外れないようにする。
- ・ステンレス線を瓦の下に入れて固定しない。
- ・アイコーチネジは、集熱器を支えるのに十分な強度があるところ(軒桁、母屋、たる木など)に締め付け、木口を避ける。(木口に締め付けると、木が割れるなどしてアイコーチネジがゆるみ、集熱器が落下する恐れがあり危険です)
- ・アイコーチネジは、ワッシャーを通して使用する。

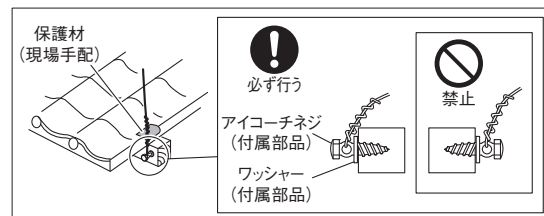


■付属部品の変更内容

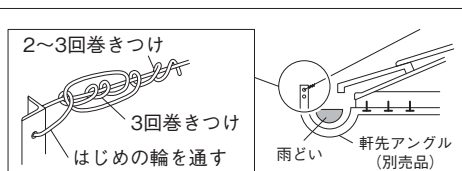
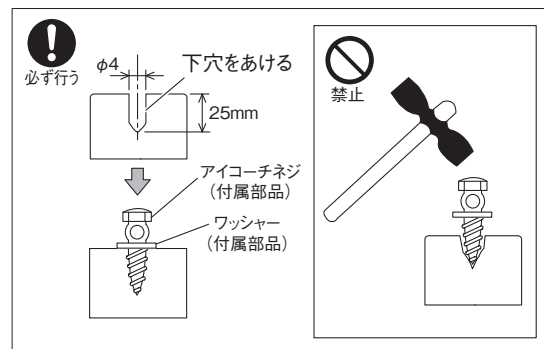
(注): 変更部品

部品名	変更前	変更後
ステンレス線(Φ2.6×約40m)	1	1
アイコーチネジ(Φ7.2×50)	—	10 (注)
ワッシャー(呼び径8)	8	10 (注)
コーチネジ(Φ8×60)	8	— (注)
ワッシャー(呼び径6)	2	— (注)
コーチネジ(Φ6×50)	2	— (注)

- ・アイコーチネジは、力のかかる反対方向にねじ込む。
(力のかかる方向にねじ込むと、アイコーチネジが抜けやすくなります)



- ・ハンマーなどで打ち込むと、木材の割れやアイコーチネジの抜けの原因になるため、絶対にしない。



※ステンレス線は瓦の近くで、できるだけ下向きの角度で張る。

